

# 「夢追い人通信」 第19号「ベトナム・カンボジア紀行」(2015.11.12~16)

## その1 ベトナム編

1月は体調不良でキャンセルしたベトナム・カンボジア行きを11月に実現。  
ベトナム・ハロン

湾は雨模様、カンボジアは昼間にスコールがあったものの晴天続き。妻と一緒に初めての東南アジアの旅。日本からの添乗員はいませんが、現地のガイドが国の状況をありのまま語ってくれて印象に残る旅でした。

第19号の内容は次のとおり。

- 第1日目 東京(成田) ハノイ ハロン
- 第2日目 ハロン ハノイ シュムリアップ
- 第3日目 シュムリアップ
- 第4日目 シュムリアップ ハノイ
- 第5日目 ハノイ 東京(成田)



第1日目 【 11月12(木) 東京(成田) ハノイ ハロン 】 ☀️ 9,418 歩 バス 180km

成田空港チャックインは、前の便の「爆買い」の荷物のせいか、混んでいて定刻通り出発できるかヤキモキ。どうにか定刻5分遅れの10:05離陸 VN(ベトナム航空)311便。時差2時間のベトナム・ハノイ空港に13:50着。2006年4月出張以来のハノイ。その時と比べ空港ビルが新しいので、あとでガイドに

### ベトナム事情(ガイドのコイさんによる)

- 国土33万km<sup>2</sup>=日本全体一北海道、海岸線 3,960km、山地が多い。人口 9,100 万人
- 中国雲南省・ラオス・カンボジアに接する
- キン族(ベト族)が90%占める
- 4000年の歴史の内3000年戦争→そのせいか愛想がななく見える
- 首都ハノイの人口711万人 ホーチミンに次いで2位
- 1975年南北ベトナム統一
- 主席(中国系)、書記長(北出身)、総理大臣(南出身)
- ホーチミンは「ベトナムの心」、No2 のザップ將軍は103才で死去
- 時差:日本と-2時間、172ドン=1円 金利7%
- 始業時間:小学校8:00、中学校7:30、高校・大学8:30 学校:5・4・3制
- 65%が農業従事、2020年に工業国目標 北2毛作、南3毛作
- 月収 4~5 万円 マンション 2,500 万円
- オートバイの相乗り、大人2名、子供1名は法律で OK 日本製は高いが故障知らずで人気。中国製は日本車と似た命名、故障しがち。
- 結婚:男 20 才、女 18 才以上、昔見合い、今恋愛 3/4
- ワイロ横行 半分半分制度 例:罰金、ヤミで折半
- 家屋:土台コンクリート、壁レンガ
- 日本の ODA で発電所建設。最近は風力・水力に力、原発はロシアと受注競争



聞くと日本の援助で、工費9億米ドルをかけて大成建設により2014年12月に出来たばかりという。飛行機から降りると空気が生暖かい。気温31℃。出口でガイドのコイ



ハノイ着陸前

さんが鯉のぼりの旗を持って出迎え。バスに乗り込んでコイさんからベトナムの事情を聞きながら、窓からハノイ市内観光。



日本の援助で2015年1月完成のホン川の橋を渡る



ホーチミン廟

木が茂っているところには官庁街や大使館が並んでいて人通りも少なく閑静。

旧市街に入るとオートバイが行きかい混雑しているアジアの風景に出会う。夕刻に入り、バスを降りてコイさんの誘導でおっかなびっくりオートバイの群の前をわたりショッピング街を歩く。



世界遺産タンロン(ハノイの旧称)城

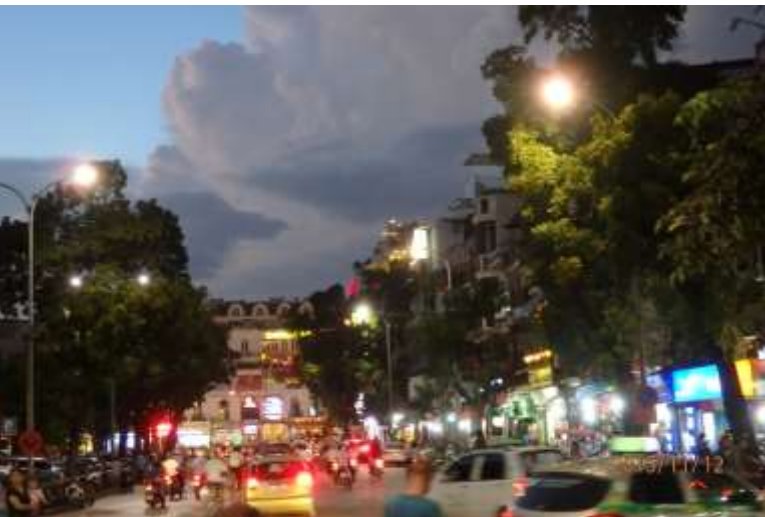


旗の塔



市民の憩いの場・ホアンキエム湖

売り子は若い女性が目立つ。バスに乗り込み一路ハロンに向かう。途中 10 月 28 日に開店したばかりの「イオンモール」を通り過ぎる。商品は殆ど中国製という。



途中、レストランでベトナム料理の夕食。ハノイから180km、4時間のドライブでハロン着。今夜の宿はノボテル ハロンホテル。



ハロン泊

第2日目【11月13(金) ハロン湾クルーズ ハノイ シュムリアップ】 8,089 歩バス180km

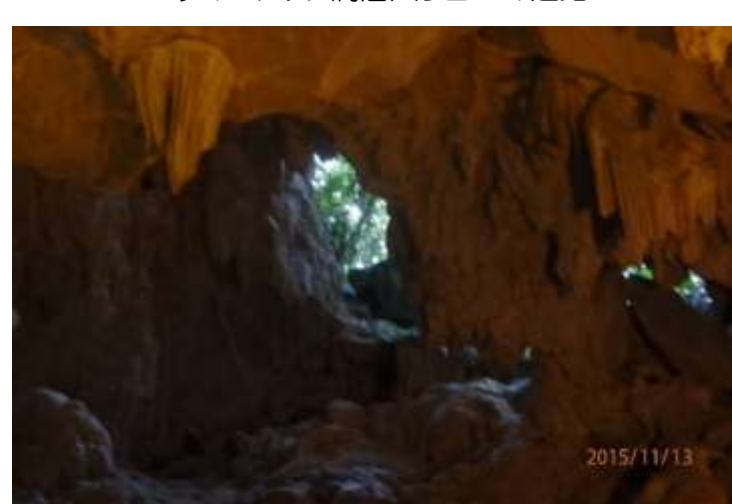
バスでホテルを8時出発。15分で港着。ここから3時間の世界遺産ハロン湾クルーズ。中国桂林に連なる石灰岩の絶景。陸のハロン湾と呼ばれた所は2006年に行ったが、海は初めて。ハロンの地名は、ハ＝降



バイチャイ港を出発



ティエンクワン洞窟入り口への通路



漁船が難破した際、漁師がこの穴から入って発見



りる、ロン＝龍を意味する。昔、外敵の侵略に悩まされていたこの地に龍の親子が降り立ち、敵を撃退し宝玉を吹き出したのが奇岩になったという。何でも1969もの島があるという。雨模様の中、岩と海の織りなす墨絵のような風景。時おり船がすれ違う。

途中、ティエンクワン洞窟で下船、400段の階段があるライトアップされた見事な鍾乳洞を見学。洞窟見学

を終えてまた船に戻ってクルーズを続ける。途中、船内でハロン湾海鮮料理をビール片手に昼食。  
ときおり甲板に出て周囲の絶景を見る。多少の雨は苦にならない。奇岩、行き交う船、大型クルーズ船、水  
上飛行機等見飽きない。



洞窟見学後、再び乗船



コイさんによると雌雄岩。見る角度でキスしているよう





目印の鯉のぼりを持ったコイさん

出港地に戻って、バスに乗り昨日と逆にハノイを目指す。ハノイ空港からカンボジア・シェムリアップ空港に飛ぶ。予定した便が遅れそうなのでコイさんの機転で、前の便にギリギリ乗れた。

コイさんには大変お世話になった。とにかく真面目で誠

実。ホテルで別れる時にも「何かあったら電話してください。真夜中でも駆けつけます」と語る。カンボジア・Eビザのことを聞いたらすぐ連絡をとって答えてくれた。親日家で日本にも家族旅行で来たことがあるという。コイさんの結婚式の写真は、渋谷駅南改札西口徒歩3分のフォーのお店「ハノイのホイさん」という料理店に貼りだしてあるという。これまでのガイドの中で一番。



その1 ベトナム編 完